

77歳の5,000円を廃止など敬老祝い金を縮減 12月定例市議会がはじまりました

12月定例市議会が1日開会し、小中学生が学校で使うパソコンを購入する動産の取得(1億3,939万円)、市の一部公共施設や利根郡内の町村の一部公共施設がそれぞれ利用できるようにする定住自立圏形成協定の締結、(仮称)平川小水力発電所建設工事請負契約の締結(8億3,380万円)、一般会計補正予算など22件の議案が提案されました。

財政的な理由などから現在77歳で支給している5,000円を廃止し、101歳以上に毎年支給されている50,000円を10,000円に引き下げるという「敬老祝い金条例の一部改正」が提案され、日本共産党市議団(2人)以外の賛成多数で可決され、新年度から実施されます。



利根町出身の宮川ひろさん名誉市民に



12月定例市議会に利根町千鳥出身の児童文学者、宮川ひろさんを名誉市民にすることについての議会の同意を求める議案が提案されました。(採決は、11日の本会議)

宮川ひろさんは、大正12年(1923)に利根郡東村(現在の利根町)に生まれ、東村尋常高等小学校平川分教場で教師として勤めたのち上京し、昭和44年(1969)に「るすばん先生」で児童文学作家デビューし、主な作品には、「おかあさんのつうしんぼ」「春駒のうた」など130点を超える作品があります。

歴史資料館で真田家伝来の資料について講演会

歴史資料館の第9回企画展「真田宝物館収蔵品展」の記念講演が11月22日、テラス沼田1階多目的ホールでおこなわれました。

記念講演は、真田宝物館研究員の山中さゆり氏が、真田宝物館に収蔵されている真田家伝来の資料などを紹介しました。



続ぶらり散歩 めまた道 利根町あれこれ 特別編その九十

幻の集落—根利山 砥沢①

足尾山塊の皇海山を源流とする栗原川、平川の深い渓谷のなか、明治31年(1898)から昭和14年(1939)まで、足尾銅山に坑道を支える坑木や金属を精錬するための燃料である木炭などを鉄索(ワイヤーで物資を運ぶ簡単なリフトのようなもの)で送るため、古河鋳業の根利林業所が砥沢に置かれました。



砥沢～銀山平を結ぶ鉄索(砥沢線一本線)が明治37年(1904)に開通し、100基の木製支柱が建てられ、六林班、境沢、赤岩の3カ所に中継所があり、見張り用の番小屋が4カ所で、10.2kmに及びました。

写真上は、明治40年ごろの平河線の土場で、その下の写真は8年前の同じ土場あたりの写真です。

根利山とよばれた砥沢、平滝、源公、円覚、津室、広河原などの根利山では、木材を切り出す人や鍛冶や炭焼きの職人、駐在所や学校などもあり、最盛期には約3,000人の人が住んでいたといわれています。
※現在は栗原林道が通行できないため、砥沢跡に行くことはできません。



安倍前首相は、新型コロナウイルスだけで8回の記者会見を開きましたが、菅首相は記者会見も開きません。国民に語る政策を持たない政権は、失格です。

菅首相は1日、小池東京都知事と会談し、「G.O. トータルベル」について、65歳以上の高齢者や基礎疾患のある人に対し、都内発着分の一時利用を自粛するよう呼びかけましたが、これでは利用するかしないかの判断を国民に丸投げしただけです。
専門家が参加する政府の会議が11月20日、「G.O. トータルベル」の感染拡大地域の適用除外を提言したことを受け、やっと一部見直しを表明しましたが、後手で小出しの修正の繰り返しでは、急速に広がる感染拡大を抑え込むことはできません。

こんにちは 大東のぶゆき です

市民と野党共闘と日本共産党の躍進で政治を変えよう

日本共産党利根沼田地区委員会は11月29日、日本共産党たなはしせつ子衆議院群馬一区予定候補を弁士に裁判所前で街頭演説をおこないました。



たなはしさんは、「市民と野党共闘の前進、日本共産党の躍進で、感染拡大を防ぎ、国民の暮らしと地域経済を守る新しい政治に変えよう」と訴えました。

2020年12月6日

NO. 680

日本共産党 大東のぶゆき議員活動地域後援会ニュース

やまびこ

発行所 沼田市下久屋町983 Tel.23-1519 部内資料